



下館ロータリークラブ会報

第 02686 号

発行日／令和 7 年 2 月 22 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本日のプログラム

第5分区 2月22日(土)
インターシティミーティング

次週のプログラム

地区出前卓話

会長／宮田 憲一

副会長／早瀬 浩一

幹事／潮田 武彦

会長エレクト／堀江 勤

Facebook



例会日時／水曜日 12時30分

例会場／ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

URL／<http://www.shimodate-rc.gr.jp>

E-mail／shimodate@ri2820.jp

Instagram





前例会報告 第 3081 回 2025/2/12(水)

来 訪 者 ようこそ下館 R C へ

木村美枝子 様 (地区米山奨学前総括委員長)

会 長 挨拶 宮 田 憲 一 会 長

本日のゲストは、皆様もよくご存知の直前・地区米山奨学総括委員長をお務めになりました木村美枝子様です。木村様には卓話を頂戴いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

例会場での例会は久しぶりとなります。2月5日は高萩ロータリークラブへ集団メイクアップをいたしました。潮田幹事、堀江会長エレクト、神山パスト会長、そして下館さくらロータリー衛星クラブの内山直前議長にご同行頂き、高萩の地を楽しんでまいりました。

例会では大高司郎ガバナーはじめ皆様から歓迎とおもてなしを受け、大変アットホームで和やかな中にも規律正しく例会を運営されていて、大変勉強になりました。

例会前には高萩八幡宮や花貫溪谷を見学、例会後は今川会長、小森様が高萩の歴史的スポットや景勝地をご案内してくださいました。高萩は海も山も近く、自然豊かな素敵なところでした。

さて、私たちのホームグラウンドである母子島遊水地が『ダイヤモンド筑波』を迎え、見学や撮影者などたくさんの方々が訪れております。先日の9日日曜日は、急遽、お声かけさせていただきダイヤモンド筑波直前クリーン作戦を実施いたしました。急なお願いにもかかわらず、たくさん集まってくれました。ご協力ありがとうございました。

太陽がちょうど山頂から昇るのは 14 日の朝 6 時 50 分ごろです。当日は混雑もあるか

と思いますが、臨時駐車場も用意されておりますので是非行ってみてください。お天気も予報では快晴となっていますので、素晴らしい光景が見られることと思います。

4 月 6 日 (日) にはこちらで恒例の『花見例会』も開催致しますので、ご予定ください。

また、本日皆様のお手元に届いております『ガバナー月信』2 月号の裏面をご覧ください。第 5 分区のバナー紹介が掲載されております。

ガバナー事務所よりクラブバナーの由来や意義についての説明文寄稿依頼がありました。今回、下館のバナーの経緯等を改めて調べる良い機会となりました。新井和雄パストガバナーから情報をいただき次のようにまとめました。

バナー紹介 クラブ 65 年の歴史は下館の町から仰ぎ見る筑波山を描いたバナーと共にありました。現在のクラブバナーは 1992-93 年度クラブ会長・直江敏郎氏のご自身でデザインされたもので、筑波山と筑波の西の鬼怒川・勤行川・小貝川、三本の川に恵まれた文化の香りが高い緑豊かで肥沃な土地をイメージしたものです。時代や街が移ろうともロータリーの奉仕の理想と同様に変わらぬ故郷の美しい情景が表現されています。

ご覧いただくとわかる通り、実に 7 クラブ中 5 クラブのバナーに筑波山が描かれています。古来、万葉集にも詠まれ、常陸国風土記にも取り上げられている筑波山。茨城県民にとってまさに心の故郷を象徴するものだと思います。

ガバナー月信にはこのほか、ロータリー特別月間『平和構築と紛争予防に因んで』と題し、当クラブの新井和雄パストガバナーが寄稿されております。こちらでも大変多くの学びがありますので、ぜひご覧ください。



合わせてロータリーの友2月号では、今回、2820地区に関係した記事が多くあります。特に26ページには、10月に笠間で開催された『世界ポリオデー2820』の写真がRI理事賞に選ばれております。どうぞ一読ください。

最後になりますが、2月22日は第5分区のインターシティミーティングです。『ロータリーの120周年を祝おう!』のテーマの元、ホテルニューつたやさんで開催されますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。なるべく乗り合わせでお願いできればと思います。

それでは本日もよろしくお願い致します。

会長あいさつは以上となります。

理事会報告 潮田 武彦 幹事

地区クラブ奉仕委員に杉山吉彦会員を推薦

3月、4月のプログラム承認

○移動例会 3月19日TOTO工場見学

○結城RC60周年4月5日（全員登録）

○ネパール訪問4月23日～28日

○ロータリー説明会2月19日

○花見例会4月6日10時～

その後5分区観桜会に合流

卓 話 木村美枝子 委員長 春の古代食と神話語り

人が生まれて生きていくのに必ず必要なのは食べ物です。ですから、「食べる」という言葉は世界中の人類が意思疎通する時、最も簡単に一言で、最も多くの人が同じ音声で発音していた時代があったと想像されます。

ごく最近まで、メソポタミア考古学に関する書物に見られる一般的な学説では、文字は、ほぼ紀元前3000年ごろかそれより少し以前のイラク南部で、おそらくウルクに住んでいた一人のシュメール人によって発明されたということになっていた。しかし、文字を発明した彼がシュメール人であったかどうかは確かではない。なぜなら、初期の文書は全て純粋にピクトグラフ的なものであり、いかなる言語で記述されたものであるかを示す音声的な





表示はまったくないからである。

※大英博物館双書 楔形文字 矢島文夫監修 クリストファー・ウォーカー著

これから、お話しする古代食は紀元前3000年から4000年頃の人は何を食べていたのか、考古学的に解説して。想像を膨らまして実際に調理してみて、食してみるというロマンあふれる楽しい会食会を開いてきました。数千年も昔のレシピが残っているわけではありませんが、文献を熟読して考古学的な資料を参考に、古代の人の食文化を覗いて見ましょう。

では、古い順から始めましょう。今から5300年前の人の遺骨が凍結ミイラで発見されたお話です。1991年、イタリアとオーストリア国境の標高3000mは超える氷河の雪解けの中から、男性のミイラを観光登山に来た人が発見しました。その男が死に至った経緯ははっきりしませんが、死の数時間前に食べていた食事は大体のところ胃の中に残っている物の分析からわかってきました。

- 1, アイベックスの肉と数種類の動物の脂身
- 2, 小麦に水を加えて加工したもの。
- 3, さらに腸から煤。 4, 有毒ワラビ
- 5, コケ類

男の持ち物には、フリント、スクレイパー、乾燥したキノコが入っていました。

そのころの日本は縄文時代中期で日本列島の大地からの恵みと、大陸から人とモノがやって来ることで、同時にもたらされた食文化が著しく発展しました。

ロータリー財団より表彰

ポールハリスフェロー

宮田憲一さん 潮田武彦さん 中里泰久さん

スマイルBOX 鈴木健一 副委員長

お祝い事

パートナー誕生 鈴木 健一さん

▶木村美枝子さん 本日、卓話に参りました。よろしく願い申し上げます。

▶宮田 憲一さん 木村様のご来訪を記念して。たのしみです！

▶潮田 武彦さん 木村様、ようこそ下館RCへ。卓話楽しみにしました。本日は、よろしく願いします。

▶堀江 勤さん 木村様の来訪を記念して。卓話、楽しみにしています。

▶早瀬 浩一さん 木村美枝子様ようこそおいで下さいました。卓話よろしくお願いいたします。

▶永井 啓一さん 木村様、卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いします。

▶中里 泰久さん 木村美枝子前米山総括委員長ようこそ！本日はよろしくお願いいたします。

▶塚田 砂与さん 木村様ようこそ！卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

▶横塚 篤さん 木村様、本日は楽しみにしておりました。宜しくお願いいたします。

▶鈴木 健一さん 木村美枝子さん卓話よろしく願いします。楽しみです。

本日の合計 25,000円 累計 371,000円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
17	9	6	1	1



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理標準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。